

あひるNEWS

2025 年号



CONTENTS

団長あいさつ.....	1
指揮者あいさつ.....	2
副指揮者あいさつ.....	3・4
今年度の主な行事.....	5・6
新団員紹介.....	7

令和7年度 スタート

4月27日、水戸市常磐市民センターにおいて、令和7年度あひる会合唱団の総会が開かれました。団長には坪氏が再任されました。



団長あいさつ

実力を高める年に

団長 坪 登

団長という大役を仰せつかって1年と数か月が経ちました。振り返ってみると、水戸市民会館グロービスホールでの初めての定期演奏会の開催や市民センターの予約システムの変更への対応など、いろいろなことがありました。指揮者の打越先生・後藤先生、前団長で副団長の武石さんはじめ、幹事会の皆様、そして団員の皆様の温かいご支援・ご指導によりまして、何とか務めることができました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

私も若いころには、パート責任者や定演のプログラム編集、機関紙を担当させていただきました。しかし、運営の中枢に入ってみて、先輩諸氏の皆様の献身的な仕事ぶりにご苦勞に心より感謝と敬意を表したいと思いました。

さて、次回の定演は来年の6～7月になると思います。（9月に水戸芸術館からの審査結果が届きます）曲目もほぼ決定し、練習を進めているところですが、そんな中3月の合唱セミナーで相澤直人先生に、7月の課題曲講習会で中館伸一先生のレッスンを受けることができました。

さらに、（個人的なことですが）8月に平FG合唱団の演奏会に参加し、田中指揮者の指導を受けながら「蔵王」全曲を歌ってきました。外部の先生方の講習を受けることはとても刺激になりました。勉強になります。いつも指導されていることを別の表現や方法で伝えられることもありますし、別の視点から指導されることも多いです。講習会等に積極的に参加し、さらに実力を高めていけたらいいなと思います。ひとり一人の実力が高まればあひる会の実力も高まります。打越先生の負担を少しでも減らし、曲作りに専念できるようにしたいと考えています。

最後に、あひる会合唱団はあと5年で創立80周年を迎えます。記念事業として何かやりたいとの考えをもっています。記念演奏会だけでなく、どのような事業ができるか、団員の皆様の思いや考えをお知らせいただければ嬉しく思います。

体調管理に気を付け、練習に参加できる体力と気力を養ってください。



指揮者あいさつ

小さいころ奇妙だと 思っていたこと

指揮者 打越孝裕

子供のころ、毎年夏のお盆になると、ひたちなかにある父の生家にお参りに行っていました。いつも不思議だと思っていたことがあります。それは仏壇に兵隊姿の父の写真が置いてあるからです。いや待て！私は父に連れられてここに来ているのです。つまり、父は元気です。なのになぜ父の写真が仏壇にあるのか……。

ちょっと尋ねればすぐに解決することを、私は高校生になる頃まで黙っていました。ある日何気なくそのことを父に尋ねたら、あきれたような返事が返ってきました。

「あの写真はオレじゃない。兄貴だ。」

父の兄、私の叔父は、第二次世界大戦中の南方海上を航行中、敵潜水艦の攻撃を受け太平洋に沈んだそうです。実の兄とはいえ、長い間自分の父親だと勘違いしていたほどその写真は父とそっくりでした。

この原稿を書いている6月現在、朝ドラ「あんぱん」では、太平洋戦争が泥沼化し、外地の、そして内地での壮絶な状況が描かれています。日本は余りにも多くの尊い命の犠牲の上に今の平和を獲得しました。なのに、世界に眼を向けるとロシアとウクライナの情勢は好転の兆しが見えず。イスラエルのガザ地区への攻撃で人道状況は悪化の一途をたどっています。

そしてさらにイスラエルとイランの交戦も始まってしまいました。愚かな国の指導者たちは、過去に繰り返された戦争という悲劇から何も学んでいないのでしょうか。「歴史的・民族的・宗教的…」どんな理由を並べたって戦争は「悪」以外の何ものでもありません。戦争というものはいくら以上大切なものはない「人の命」を奪うものだからです。

次の定演の第3ステージは「紛争と平和、そして命」をテーマに構成しました。私たちにできることはささやかですが、歌声を聴かれた方々に何か少しでも届いてくれたらいいと願います。



副指揮者あいさつ

体の声に耳を傾ける

副指揮者 後藤敦子

今年の夏は本当に暑かったですね。連日 40 度近くの気温の中、バテ気味の方もいるのではないのでしょうか。夏の疲れを日々解消したいものです。

さて、合唱の指導を受ける時などに「体は楽器だから…」というような表現を耳にすることがあると思います。この言葉は言い得て妙だなと思います。たしかに、例えば風邪をひいてしまって喉が痛い時は、管楽器の管が塞がれているように声がかすれてしまいますし、腰が痛くて背筋を伸ばせなかったら、弦楽器の弦がたるんでしまったようにお腹の力が入らずに発声するのが難しいかもしれません。

何年も自分の体と付き合っていると、ちょっとした不具合に気付かずに見逃してしまうことがあります。一日にほんの数分でいいので、歌う時ピッチを合わせるように、体の声に耳を傾けてみてください。ちょっとした「つまり」や「こり」に気付いてそこをストレッチやマッサージする。その積み重ねが大きな故障を防ぎ「楽器」のコンディションをいい状態に保つ秘訣なのではないのでしょうか。

次の定期演奏会、セカンドステージで歌う「イタリア歌めぐり」はイタリア人の陽気さを表すような楽しい曲ばかりです。先日のコーラス de MITO では、ステージを見た方々から「皆さんの笑顔がとてもよかった」という声が聞かれました。これは本当に素晴らしいことだと思います。改めて「楽しく歌う」という点に目を向け、歌う側も聞く側もさらに楽しめるステージを目指したいものです。

メンタルもフィジカルも健やかに、楽しんで練習していきましょう！



副指揮者あいさつ

声を合わせる幸せ

副指揮者 川上典子

皆さん、いつもありがとうございます。

なかなか練習に参加できず心苦しく思っておりますが、ご一緒できる折には、皆さんと声を合わせる時間を心から楽しみにしています。

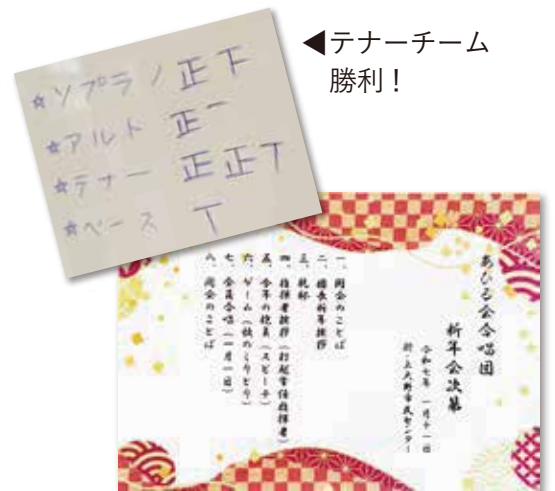
今年度は、打越先生に代わって指揮をさせていただく場面もありました。もちろん先生のようにご指導することは到底かないませんが、経験豊かな皆さんに支えていただきながら音楽を共につくっていけることは、私にとって大きな励みです。微力ではありますが、先生のご負担をほんの少しでも和らげられるよう、これからも研鑽を積んでまいります。

合唱は、ひとりでは決して味わえない「声を合わせる幸せ」があります。皆さんと共に響きを育てていく時間は、私にとってかけがえのない宝物です。これからも、もっと深く合唱の魅力を味わい、より良い音楽を目指して取り組んでいきたいと思っています。

どうぞ今後ともよろしく願いいたします！

今年度の主な行事

新年会 1月11日 上大野市民センター



◀テナーチーム
勝利！

▲「歌のしりとりゲーム」で盛り上がりました

合唱セミナー 3月2日 水戸芸術館 ATM ホール

講師：指揮者・作曲家 相澤直人先生
課題曲：「ぼくはぼく」「ぜんぶ」
「リフレイン」



第79回 茨城県合唱祭 6月8日 ひたちなか文化会館

指揮：打越 伴奏：押手 参加団員：28名
演奏曲：作詞 Miyabi・作曲 村松崇継・合唱編曲 田中達也
「いのちの歌」

◆松原真介先生より講評をいただきました



▲会場の様子

「いのちの歌」が声が出て、男声に変わっていく
部分は、大変いい感じにそして自然に
旋律的で美しい混声合唱です。
また、展開も音楽的でピアノ、合唱が
一体となっている雰囲気を感じ伝わ
ります。
歴史ある合唱団で、さすがという感じ
ですね。
プログラムの言葉がもう少しハッキリすると
更にいいですね。
更なる飛躍を...

第2回 CHORUS de MITO 8月3日

水戸芸術館コンサートホール ATM

指揮：後藤 伴奏：小林 参加団員：25 名
演奏曲：混声合唱のための「イタリア歌めぐり」より
「女心の唄」、「フニクリフニクラ」



課題曲講習会 7月21日

茨城キリスト教学園

講師：中館伸一先生
課題曲：Dies sanctificatus



第33回 水戸市合唱祭 11月1日

水戸市民会館 グロービスホール

指揮：打越 伴奏：小林 参加団員：27 名
演奏曲：作詞 Miyabi
作曲 村松崇継・合唱編曲 田中達也
「いのちの歌」



◆真下洋介先生より講評をいただきました

響きの豊かな声で、丁寧なニュアンスのある素晴らしい演奏でした。
言葉の捌きも適切で、自然と歌詞が耳に届きました。
アウタクトの歌い方に気持ちがしっかり入っていて心をグッと揺さぶられました。
素晴らしい演奏とありがとうございました！

響きの豊かな声で、丁寧なニュアンスのある素晴らしい演奏でした。
言葉の捌きも適切で、自然と歌詞が耳に届きました。
アウタクトの歌い方に気持ちがしっかり入っていて心をグッと揺さぶられました。
素晴らしい演奏をありがとうございました！

新団員紹介

ベース

林 秀行さん

はやし ひでゆき



水戸市大塚町在住

●入団理由

5 年程前から近隣の市民センターで月 2 回（2 時間／回）のコーラス講習を楽しんでいましたが、もっと沢山歌いたいなと思って、Mito de Chorus でのあひる会の楽しそうな歌声を聞いて、仲間に入れて貰いたくなりました。

●歌ってみたい曲

（好きな曲）中島みゆき（時代、糸 他）、小椋佳（しおさいの詩、小さな街のプラタナス 他）、井上陽水（少年時代、夏の終わりのハーモニー 他）

●ひとこと

自己流でクラシックギターを楽しんでいましたが、多くの仲間と音楽を共感できる合唱の魅力が分かったところです。

あひる会の輝かしい歴史を知らずに思わずドアをノックしてしまいました。まだ数回の練習参加ですが、レベルの高さに圧倒されています。最後のチャレンジですので、何とか付いて行きたいと思っています。

ソプラノ

大和千鶴さん

おおわ ちづる



水戸市在住（長野県松本市出身）

●入団理由

第九の練習の時に平野さんにお声がけいただきました。

学生時代ぶりに合唱したら想定以上に楽しかったのと、見学の際に皆さんが歌ってくださった歓迎の歌が嬉しかったからです。

●歌ってみたい曲

明日への手紙（手寫葵）、クリスマス・イブ（山下達郎）、いま（佐藤健太郎）、ディズニーソング etc... 色々な曲と出会いたいです！

●ひとこと

高校以来の合唱で緊張しておりますが、既に練習等で皆さんの優しい人柄に助けられております。特に入団月の 11 月に早速合唱祭の舞台に参加させて頂くことになるとは夢にも思っていませんでしたが、今では良い経験になったと思っています。普段お会いすることの少ない人生の先輩方の貴重なお話聞けることをとても楽しみにしています、どうぞよろしくお願いします！

訃 報

本田幸子さんが9月28日お亡くなりになりました。
あひる会のみならず、本県の合唱の発展にご尽力された
ことに感謝申し上げるとともに、
ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記



ここの所、一挙に冬になってしまったのかと思うほど肌寒い日々が続いていますね。

皆様くれぐれも体調管理を宜しくお願いします。

さて、今年度は市民センターの使用回数が制限されて、月4回程度になってしまいました。

一度でも欠席すると間が空いてしまうので、練習で指摘されたことを忘れてしまうということも有りがちです。

「あひる会」のホームページに役員の方が、練習した曲をそのままアップして下さっていますので、各家庭でそれらを視聴して自己練習に役立ててください。

いつも口ずさんでいることで暗譜にも効果ありと思います。

編集委員 飯田・山崎

※あいさつなどの原稿は寄稿いただいたものをそのまま掲載させていただいています。
編集が遅くなり大変申し訳ございませんでした。 デザイン・制作 山崎